

租税法研究会開催のご案内

標記につきまして、亜細亜大学大学院（経済学研究科・法学研究科）及び経済社会研究所の主催による租税法研究会を下記のとおり開催します。当日は2部制で行い、本学学生や市民の方なども自由に聴講できます。今回も会場（教室）における対面方式とZOOMでのオンライン方式の併用で実施しますので、ご参加をご希望の方は専用メール・アドレス（sozeiken@asia-u.ac.jp）にお申込みください！

※ 本研究会は、東北税理士会、関東信越税理士会、東京税理士会、千葉県税理士会、東京地方税理士会、近畿税理士会、四国税理士会及び南九州税理士会の研修として認定されており、一括申請しますので、それぞれの税理士会に所属の税理士の方は、受講される場合、お手数ながら、お申込みの際に、所属会名、支部名、登録番号、氏名を上記メール・アドレスにご記載いただきますようお願いいたします。

記

1 日時

令和6年8月31日（土） 14時00分～17時10分（二部制で実施し、入退室は自由です）

2 実施方法

会場（教室）における対面方式とZOOMでのオンライン方式の併用で実施します。

(1) 対面方式（教室）

亜細亜大学武蔵野キャンパス200教室（2号館1階）

（〒180-8629 東京都武蔵野市境5-8）

(2) オンライン方式

ZOOM（URLなどを事前にご連絡しますので自宅等から聴講できます）

3 研究会のテーマ及び講師

第1部 14時00分～15時30分

・テーマ：相続財産の時価評価をめぐる問題—近年の注目判決を素材として

・講師：横井里保氏【島根大学法文学部講師】

第2部 15時40分～17時10分

・テーマ：相続税の無制限納税義務者の範囲の妥当性

・講師：山上淳一氏【中央大学商学部教授】

※ 座長/司会 肥後治樹【亜細亜大学法学部/教授】

4 受講時間

3時間

5 受講料

無料

6 事前手続

受講をご希望の場合は、事前に専用メール・アドレス（sozeiken@asia-u.ac.jp）にお名前とメール・アドレス、対面方式とオンライン方式のいずれでの受講をご希望がをご連絡いただきますようお願いいたします。オンライン方式での受講をご希望の方には、URL等をご連絡します。

以上

<お問い合わせ>

亜細亜大学大学院法学研究科 肥後治樹研究室（Tel.0422-36-6553）

（ご不明な点などは、専用メール・アドレス（sozeiken@asia-u.ac.jp）までお問合せ下さい。）

1 件名

2024（令和6）年度・亜細亜大学「租税法研究会」（第1回）のハイブリッド方式での開催について

2 目的

本学が有する専門的知識、人材、施設などを活用し、地域・大学・市民との連携により、教育研究の成果を社会に還元し、地域社会との交流、協力を促進することにより、本学の使命たる人材育成と、より良い社会の形成、発展に寄与する。

併せて、税理士等税務関係の職業人を対象とすることにより、税理士を志望する者に対し、租税法論文による修士号の取得により税理士試験の科目免除（2科目）を受けられる本学大学院法学研究科及び経済学研究科をPRする。

3 内容

(1) 日時

2024（令和6）年8月31日（土）14時～17時10分（二部制）

(2) 実施方法

会場（教室）における対面方式とZOOMでのオンライン方式の併用で実施する。

- ・ 対面方式（教室）
亜細亜大学武蔵野キャンパス 200 教室（2号館1階）（予約済み）
- ・ オンライン方式
ZOOM
 - ▶ トピック：亜細亜大学「租税法研究会」
 - ▶ URL：<https://asia-u-ac-jp.zoom.us/j/83045765432?pwd=V2xrZkRzUjEyRTdXQndlUVFvNENwQT09>
 - ▶ ミーティング ID：830 4576 5432
 - ▶ パスコード：561247

(3) テーマ及び講師（講演順に変更あり）

第1部 14時00分～15時30分

- ・ テーマ：相続財産の時価評価をめぐる問題—近年の注目判決を素材として
近年の注目判決である最高裁令和4年4月19日判決等を素材として、財産評価基本通達総則6項の適用をめぐる問題について租税法の基本原則の視点から検討する。
- ・ 講師：横井里保氏（島根大学法文学部講師）
(https://www.hobun.shimane-u.ac.jp/list_teacher/yokoi.html)

第2部 15時40分～17時10分

- ・ テーマ：相続税の無制限納税義務者の範囲の妥当性
課税方式等と整合的でないとする批判的見解もある相続税の無制限納税義務者の範囲について、妥当性を有するとの立場からその論証を試みる。
- ・ 講師：山上淳一氏（中央大学商学部教授）
(https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003090_ja.html)

(4) 来場者数（見込み）

30名程度

（注）本年（2024（令和6）年1月20日（日））にハイブリッド方式で実施した「2023（令和5）年度・亜細亜大学「租税法研究会」（第2回）は受講者名61人中24名が来場。

(5) 参考

- ・ 2023（令和5）年度・第2回（1月20日開催）：61名（ハイブリッド方式）
- ・ 2023（令和5）年度・第1回（8月29日開催）：77名（ハイブリッド方式）
- ・ 2022（令和4）年度・第2回（1月29日開催）：46名（ハイブリッド方式）
- ・ 2022（令和4）年度・第1回（8月27日開催）：80名（ハイブリッド方式）
- ・ 2021（令和3）年度・第2回（1月29日開催）：38名（実質ZOOMによるオンライン方式）
- ・ 2021（令和3）年度・第1回（8月28日開催）：46名（ZOOMによる完全オンライン方式）
- ・ 2020（令和2）年度（3月20日開催）：20名（ZOOMによる完全オンライン方式）